

令和元年度一般会計決算審査特別委員会会議録（第6号）

1. 日 時 令和2年10月14日（水）午前10時

2. 場 所 議会棟3階 議場

3. 出席委員は次のとおりである。

委員長	仲 里 邦 彦	副委員長	仲 間 烈
委員	比 嘉 克 政	委員	又 吉 正 信
委員	金 城 大 輔	委員	稲 嶺 伸 作
委員	下 地 惠 典	委員	古 波 蔵 保 尚
委員	真 栄 城 玄 誠	委員	伊 礼 研 一
委員	西 銘 健		

4. 欠席委員は次のとおりである。

な し

5. 委員会条例第19条の規定により出席した者は次のとおりである。

〔企画部〕

企画部長	宮 城 剛	情報政策課長	比 嘉 良 成
西海岸開発局長	伊 波 隆	秘書課長	崎 浜 幸 仁
企画課長	知 念 伸 男	国際交流課長	石 坂 ひとみ
企画課技幹	知 念 賢 諭	西海岸開発課長	松 永 雄一郎

〔教育部〕

教育部長	仲 間 陽 子	文化財課長	島 袋 友木治
教育総務課長	野 村 美抄代	社会教育推進課長	川 上 あけみ
施設課長	宮 城 直 哉	社会教育推進課 社会教育協働係長	松 本 ゆかり
文化スポーツ 振興課長	末 広 良 憲	社会教育推進課 図書館管理係長	與那嶺 英 樹

6. 職務のため出席した者は次のとおりである。

議事係長	吉 長 聖 哲	主 事	伊 波 徹
------	---------	-----	-------

7. 議題は次のとおりである。

議案第51号 令和元年度浦添市一般会計歳入歳出決算認定について

※ 上記付議事件については、説明聴取～質疑

○ 仲里邦彦 委員長 これより本日の会議を開きます。

(開議時刻 午前10時03分)

企画部所管に係る一般会計決算審査を行います。

早速所管部長の総体的説明を求めます。宮城 剛企画部長。

○ 宮城 剛 企画部長 それでは、令和元年度浦添市一般会計歳入歳出決算認定について、西海岸開発局を含めた企画部が所管します事項につきまして、総体的説明を申し上げます。まず、歳入についてその概要を御説明申し上げます。決算書の5ページを御覧ください。企画部所管の歳入につきましては、11款国庫支出金、12款県支出金、13款財産収入、14款寄附金、17款諸収入となっております。歳入予算の総額といたしまして14億3,315万117円となっております。対前年度と比較いたしますと額にして13億8,282万4,363円、率にして49.1%の減となっております。そのうち西海岸開発局関連を除く企画部の歳入につきましては、対前年度比で11億1,234万7,493円、率にして44.7%の減となっております。減の主な要因としましては、12款2項11目沖縄振興特別推進交付金に係る浦添市特定駐留軍用地内土地取得事業基金積立金において、当初計画額の積立てが令和元年度で完了したことによるものであります。加えて、昨年2月に執行された12款1項2目県民投票負担金と5年に1回の調査となります12款3項2目住宅・土地統計調査委託金において、それぞれ皆減となったこと等が主な要因でございます。また、西海岸開発局関連の歳入につきましては、対前年度比で2億7,047万6,870円、率にして82.9%の減となっております。減の主な要因といたしまして、12款2項11目沖縄振興特別推進交付金のうち、那覇港総合物流センター整備事業が平成30年度に完成したため、減額となっております。次に、歳出について、その概要を御説明申し上げます。決算書の7ページを御覧ください。企画部所管の歳出につきましては、2款総務費の1項総務管理費及び5項統計調査費となっております。歳出予算の総額といたしまして32億1,038万5,904円となっております。対前年度と比較いたしますと額にして4億2,241万7,601円、率にして11.6%の減となっております。そのうち西海岸開発局関連を除く企画部の歳出につきましては、対前年度比で7,984万3,297円、率にして2.6%の減となっております。減の主な要因といたしましては、2款1項1目の一般管理費のうち、県民投票事業及び浦添市・泉州市友好都市締結30周年記念事業がそれぞれ皆減によるものと、2款1項6目企画費のうち、浦添市牧港補給地区返還跡地先行取得事業において、対前年度比で1億5,069万8,868円、率にして5.7%の減などによるものでございます。また、西海岸開発局関連の歳出につきましては、対前年度比で3億4,257万4,304円、率にして63.7%の減となっております。減の主な要因といたしましては、歳入減同様に2款1項6目企画費のうち、沖縄振興特別推進交付金による那覇港総合物流センター整備事業が平成30年度に完成したことによる減額となっております。歳出の主な事業といたしまして、2款1項1目の一般管理費、蒲郡市友好交流事業では、本市と友好都市を結ぶ愛知県蒲郡市が令和元年5月に市制施行65周年を迎えましたことから、その記念式典へ市長等が参列し、祝意を表しました。これまでの両市の友好の絆と、今後も市民交流をはじめさらなる友好親善を深めることを確認いたしました。また、第六次総合行政システム構築運用事業では、住民記録や市税、福祉などの行政システムを安定的な維持管理、運用に努めているところであり、コンビニ交付システム導入、後期高齢者医療システム導入などのシステム構築を完了いたしました。2款1項6目の企画費では、継続事業として沖縄振興特別推進交付金による浦添市牧港補給地区返還跡地先行取得事業において、返還後の駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、土地の先行取得に取り組みました。また、本市の各種まちづくり事業に寄与するてだこの都市うらそえ応援事業では、直近5年間右肩上がりの寄附金増で、引き続き本市のまち

づくりに対する協力を求めるとともに、協働のまちづくりの推進に取り組んでまいります。以上、西海岸開発局を含めた企画部が所管します令和元年度一般会計歳入歳出決算について、その総体的説明を申し上げます。なお、詳細につきましては所管課長等をもって御説明申し上げます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 次に、歳入11款の説明を求めます。比嘉良成情報政策課長。

○ 比嘉良成 情報政策課長 決算書の39ページから42ページをお願いいたします。11款2項2目1節総務管理費補助金、備考欄1の(1)社会保障・税番号制度システム整備費補助金は、情報政策課所管となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 知念仲男企画課長。

○ 知念仲男 企画課長 決算書の55ページ、56ページをお開きください。11款2項12目特定防衛施設周辺整備調整交付金7,766万1,000円、同じく15目再編交付金中、備考欄1の(1)再編交付金1億783万5,000円、前年度繰越明許費として(2)再編交付金7,457万1,000円、ページめくっていただきまして58ページとなります。11款3項2目総務費委託金のうち、備考欄1施設区域取得等事務委託金50万円、以上が企画課所管でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入11款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、12款についての説明を求めます。知念仲男企画課長。

○ 知念仲男 企画課長 決算書の59ページ、60ページとなります。県支出金、12款2項2目総務費県補助金のうち、備考欄1土地利用規制等対策事業交付金、続きまして69ページ、70ページをお開きください。11目沖縄振興特別推進交付金のうち、備考欄1中の(2)沖縄振興特別推進交付金(企画課)、続きまして決算書75ページ、76ページ、12款3項2目総務費委託金の5節統計調査費委託金、備考欄1の漁業センサス委託金から、ページをめくっていただきまして決算書78ページ、同じく備考欄の8番、経済センサス調査区管理委託金までが企画課所管となっております。なお、土地利用規制等対策事業交付金39万6,000円につきましては、対前年比32万8,000円でございますが、率にして482.4%の増、沖縄振興特別推進交付金の企画課6億4,587万1,000円につきましては、対前年比13億7,604万8,100円の減、率にして68.1%の減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 石坂ひとみ国際交流課長。

○ 石坂ひとみ 国際交流課長 ページを戻りまして、69ページ、70ページ、備考欄(3)沖縄振興特別推進交付金は、国際交流課事業所管でございます。事業といたしましては2事業、南米移住者子弟研修生受入事業、中学生平和交流事業の2事業でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 松永雄一郎西海岸開発課長。

○ 松永雄一郎 西海岸開発課長 ページ同じく69ページ、70ページを御覧ください。12款2項11目沖縄振興特別推進交付金のうち、備考欄の1の(4)沖縄振興特別推進交付金(西海岸開発課)が西海岸開発課の所管分となっております。沖縄振興特別推進交付金は、那覇港管理組合が行う沖縄振興特別推進交付金事業に対し、構成団体である沖縄県、那覇市、浦添市が6対3対1の割合で間接補助するための県からの交付金

であります。令和元年度の事業につきましては、万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業を実施しており、前年度と比較して約2億7,700万円の減額となっております。その主な理由としましては、平成30年度で整備完了となった那覇港総合物流センター整備事業の減額分となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入12款県支出金に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、次に13款についての説明を求めます。知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 決算書の79ページ、80ページをお開きください。13款財産収入でございます。13款1項1目財産貸付収入のうち、備考欄の（1）軍用地賃貸料（特定駐留軍用地等内取得事業分）2億2,384万3,516円が企画課所管となっております。対前年比4,415万288円、率にしますと24.6%の増となっております。これにつきましては、令和元年度において取得した軍用地分等が加算されております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 13款に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ただいまの79ページ、80ページ、13款1項1目財産貸付収入、備考1軍用地賃貸料、これについて入ってきたということですが、それは充てられるのは一般財源に入っていくのかお伺いいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。ただいまの御質疑ですが、沖縄振興特別推進交付金、いわゆるソフト交付金を受け入れまして、それを基金に繰入れをして先行取得に充てているということでございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今言ったソフト交付金を使って基金を積み立てて先行取得していった軍用地を買って、今この買った分の軍用地料が2億2,384万3,516円ということで歳入に入ってきていますよね。その入ってきたものがそのまま一般財源のほうに行きますか、それとも何かしら別のところに行きますかということの質疑です。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。全て先行取得に係る費用として基金に全額繰入れしております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 基金に繰入れということで、その事業費、先行取得の事業費が基金積立として事業しているということなのですが、その中で交付金がどれくらい、単費というのはどれくらいになっているのですか。いわゆる浦添市の単費が圧縮されているという考え方でいいのか、それともそうではないのか、その辺りお金の流れを説明していただきたい。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。まず、ソフト交付金、沖縄振興特別推進交付金を要望して例えば6億円ついたといたします。6億円に対する2割については、単費という表現よりも市債、起債で賄

っているという現状です。つまり8割が補助、2割については起債で、また償還つきの期限もありまして、借入れをして返済していくということになります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今例えばということだったのですけれども、6億円の事業だとしたら2割が市債で起債してやっていますよ。その基金の中にこれが入っていくということは、実際は6億円だとしたら1億2,000万円が2割分浦添市の市債で賄っているとして、その部分がいわゆる軍用地料、今回でいえば2億2,000万円入っていったときに、浦添市の起債分が減っていくという考え方なのか、そうではないのか、その辺りちょっと説明、休憩でもいいです。どちらでも。

○ 仲里邦彦 委員長 知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 予算の構造ということで私のほうから。この事業につきましては、いわゆる事業費の8割が沖縄振興特別推進交付金を充てて、2割が地方債、起債を充てることになっております。この起債につきましては、財政課所管となっておりますけれども、全額交付税措置の対象になるということで、一旦一時的に市が発行して、借入金という形で負債を負う形になりますけれども、後年度において交付税の中に算定されて、公共事業のために取得するものですから、後々その償還金相当は交付税で充てられるということで我々理解しております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 つまりお聞きしたいのは、今の交付税措置2割分は入ってきますよということと、その起債の部分が本来2割分やらないといけなくとも、軍用地料が入ってくることによってある程度それが、浦添市の負担が減っていったような状況があるのか、それともそうではないのかという確認をしたくて、この入ってきた軍用地料が浦添市の負担が減っていく方向にちゃんと使われているのか、それともそうではなくて、入ってきても結局は何か還元されて国に戻っていくような仕組みになっているのか、そういう説明をしていただきたくて。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午前10時23分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午前10時26分)

知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 御質疑にお答えします。将来我々が区画整理とか実際始まったときの公園事業等がございますけれども、従前の通常の範囲では2分の1の補助で8割起債、2割を市の負担、一般財源が出ますけれども、この軍用地料を活用して、一般財源を投じずに用地の先行取得をやっておりますので、市の負担は減少するというので我々理解しております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今流れは理解できたのですけれども、その市の負担分の今言った2割分、例えばこの軍用地料を超えるということもあるのですか、入ってくるお金が。

(「ちょっと休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午前10時27分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午前10時29分)

知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 軍用地料につきましては、毎年改定もございまして、収入として我々取得している土地の分は入ってまいります。その用途は、将来における市が必要とする用地の先行取得のみに充てられております。仮にこれが市の一般財源でもって買う必要があったところも入ってくる軍用地料を充てて買っていいということで、それは許可を得て、その代わりその用途を特定するという形でこの事業を行っておりますので、たとえ軍用地料がどれだけ増えても、それは用途が確定しているということで有効利用する、一般財源の負担を減らすということで取り組んでまいる内容となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 この軍用地料は、先行取得に係る市の公有地取得するために充てられるという限定があると。この軍用地の入ってくる額によっては、今後の。それは、どこまで市の土地を取得できるのかという見通しだとかも今の時点であるのですか。何パーセントまではいけるのかなとか。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。今現在15.2ヘクタールを設定して、これまで109億円余りを軍用地買ってきました。令和3年度が最終年度ではあるのですけれども、10月初旬にあと2.2ヘクタール、つまりこれまで15.2ヘクタールと言ってきたことを17.4に増やして、できる限り将来減歩率が下がって地主さんの負担が減るように、道路、公園緑地、公園緑地を前提にしているのですけれども、購入面積を今増やそうと考えております。予算についても今年度の補正で間に合えば、新たなソフト金を、振興交付金を受入れして、買取り面積をさらに2.2ヘクタール追加しようかと考えております、現時点では。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に14款1項2目に対する説明を求めます。知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 決算書のほうは83ページ、84ページをお開きください。14款寄附金のうち、14款1項2目総務費寄附金、備考欄2ふるさとでこの都市応援寄附金2億1,069万479円は、企画課所管でございます。対前年比で6,069万479円、率にして40.5%の増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 14款に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、17款に対する説明を求めます。知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 決算書95ページ、96ページとなります。17款の諸収入のうち、17款4項3目2節総務費雑入のうち備考欄（28）番、支障除去期間補償金2,444万9,112円は、企画課所管でございます。牧港補給地区の駐留軍用地返還に伴う補償金となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 石坂ひとみ国際交流課長。

○ 石坂ひとみ 国際交流課長 決算書、戻りまして91ページ、92ページをお開きください。17款4項3目雑入、2節総務費雑入、備考欄の1総務管理費雑入の（2）広報うらそえ広告収入料、ページをめくっていただきまして94ページ、（16）ホームページ広告収入料は、国際交流課所管でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 松永雄一郎西海岸開発課長。

○ 松永雄一郎 西海岸開発課長 ページ戻りまして91ページ、92ページをお開きください。17款4項3目雑入のうち、備考欄の1総務管理費雑入の(3)那覇港管理組合派遣職員精算金が西海岸開発課の所管分となっております。これは、那覇港管理組合派遣職員の身分取扱い等に関する協定書に基づき、一旦浦添市が支払った派遣職員の給与等に対して那覇港管理組合が浦添市に精算金として支払うものであり、前年度と比較して約103万円の減額となっております。その主な理由といたしましては、派遣職員の人事異動に伴う給与等の減によるものでございます。続きまして、95ページ、96ページをお開きください。同じく17款4項3目雑入のうち、備考欄の1総務管理費雑入の(26)那覇港管理組合返還金が西海岸開発課の所管分となっております。これは、那覇市の新港ふ頭9号岸壁に設置されていたガントリークレーン1号機について、老朽化により処分を行うこととなりました。その処分に伴い、過年度の更新整備や補修整備の財源として活用した交付金の国庫返還金を各母体から国へ返納することになっており、その返還金に係る那覇港管理組合からの歳入となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 17款についての質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 96ページの備考の(28)支障除去期間補償金2,444万9,112円についてですが、これも先ほどの軍用地料と同じような理解でいいのか、それともそれとは別なのか、説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。先ほどの軍用地料と、この区別なのですけれども、支障除去については軍用地が返還されて、返還されたその土地の区域内において支障となるもの、具体的に言えば例えば環境汚染物質、PCBであるとか不発弾であるとか、水質、土壌を含めてそういったものを除去する、それが支障除去なのですけれども、その支障除去の期間について、従前の軍用地主に対して防衛局からいただいていた賃借料相当分が支払われます。返還された後でも。そして、その地主さんの土地がきれいな状態になるまでに支払われるお金ではありますけれども、私たち今回第5ゲート、小湾のほうですね、エフエム沖縄の下のほうを2ヘクタール近く返還されました、防衛のほうから。そこを買上げしました。約95%買上げたのです。そういったところの中から、また地主さんが本来もらっていた軍用地相当分の寄附金が入ってくるのです。その寄附金が今回所有権が移転して市に入ってくると。ただ、市に入ってくるときにもともとある軍用地料とこの支障除去の補償金を一緒にしてしまうと、どのお金がどこから入ってきたのかが分からなくなるので、それで地方自治法の中にある財産収入の受入れの考え方の中で、雑入という考えで旧来のもらっていた軍用地料とこの支障除去で本来地主に支払われるべき賃料相当額について分けて明快に会計処理しようということで、この部分について諸収入、雑入に分けて繰り入れたということでもあります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。詳細についても今説明があったので、理解できましたが、確認ですけれども、さっき同じようにと言ったのは、いわゆる一般財源に充てられない、いわゆる先行取得に限定してまたこれも使いますよという使い道のものになるのか、それともそうではなくてのものなのかというところの確認を改めてお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。やはりくりくりとしては先行取得に伴う市に入ってくる収入、収益になるわけで、ただ今話した補償金についてもやはりくりくりで言えば土地購入に伴う市への収入の一部であるということからすると、先行取得に係る事業費にしか充てられないという考えになります。もちろんその先行取得の詳細については、例えば業務量、委託業務であるとか、先行取得に資する必要な業務に対する支出は可能であると。さらに、市長が必要と認めたときについてもその予算を使って執行できるというふうに規定が市のほうでなされております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、歳出に入りたいと思います。次に、歳出に移ります。2款1項1目に対する説明を求めます。知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 決算書、歳出の131ページ、132ページをお開きください。132ページの2款1項1目一般管理費中の備考欄22企画課事務費は、企画課所管となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 比嘉良成情報政策課長。

○ 比嘉良成 情報政策課長 決算書の125ページから126ページをお願いいたします。備考欄の12情報政策課事務費、ページをめくっていただいて127ページから128ページを御覧ください。備考欄の13情報システム運営事業、同じく14第六次総合行政システム構築運用事業、備考欄15の総合行政ネットワーク運営事業、ページをめくっていただいて129ページから130ページを御覧ください。備考欄の16電子自治体システム構築事業は、情報政策課所管でございます。対前年度6,077万9,712円、率にして23.6%の増となっております。増の主な要因としましては、コンビニ交付事業に係る導入費用、それから情報システム運営事業の中のUPS購入費などがその要因となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 崎浜幸仁秘書課長。

○ 崎浜幸仁 秘書課長 決算書の123ページ、124ページを御覧ください。2款1項1目、備考欄9秘書課事務費、ページをめくっていただきまして126ページ、備考欄10秘書運営事業につきましては、秘書課所管分でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 石坂ひとみ国際交流課長。

○ 石坂ひとみ 国際交流課長 決算書121ページ、122ページをお開きください。2款1項1目一般管理費の備考欄3国際交流課事務費、4国際交流運営事業、5蒲郡市友好交流事業、6南米移住者子弟研修生受入事業、ページをめくっていただきまして123ページ、124ページ、7外国青年招致事業、8中学生平和交流事業は、国際交流課所管分でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 松永雄一郎西海岸開発課長。

○ 松永雄一郎 西海岸開発課長 戻っていただいて119ページ、120ページをお開きください。2款1項1目一般管理費の備考欄の1西海岸開発課事務費、(1)職員手当等が西海岸開発課の所管となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 2款1項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に2目、6目に対する説明を求めます。石坂ひとみ国

際交流課長。

○ 石坂ひとみ 国際交流課長 決算書143ページ、144ページをお開きください。2款1項2目文書広報費の備考欄2広報写真デジタル化事業、ページをめくっていただきまして145ページ、146ページ、3広報広聴運営事業は、国際交流課所管分でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 6目でございます。決算書153ページ、154ページをお開きください。2款1項6目の企画費、備考欄の4牧港補給地区まちづくり活動支援事業から、ページをめくっていただきまして決算書の156ページ、備考欄の番号11番、てだこの都市うらそえ応援事業までが企画課所管となっております。主な増減といたしましては、備考欄中番号7企画課事務費が193万1,737円の減、8番、主要施策立案事業は650万7,741円の増、11番、てだこの都市うらそえ応援事業が2,582万845円の増となっております。これら対前年比で大幅増となっているものの内容でございますが、7番、企画課事務費につきましては、育休を取得しておりました職員が復帰したことに伴い、平成30年度に任用していた臨時職員1人が減になったものでございます。また、8番、主要施策立案事業につきましては、浦添市第五次総合計画の策定業務の開始に伴う当該経費の増によるものとなっております。11番、てだこの都市うらそえ応援事業につきましては、歳入となります。てだこの都市応援寄附金の増に伴う返礼品に係る業務等の経費の増によるものとなっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 松永雄一郎西海岸開発課長。

○ 松永雄一郎 西海岸開発課長 続きまして、151ページ、152ページをお開きください。2款1項6目企画費のうち、備考欄の1西海岸開発課事務費、2の西海岸開発事業、次ページである154ページの備考欄の3那覇港物流機能等強化事業が西海岸開発課の所管となっております。154ページ、備考欄3の那覇港物流機能等強化事業につきましては、歳入でも御説明いたしましたが、令和元年度の事業といたしましては万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業を実施しており、前年度と比較して約3億4,600万円の減額となっております。その主な理由といたしましては、平成30年度で整備完了となった那覇港総合物流センター整備事業の減額分となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 2款1項2目、6目に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 152ページの備考の下の方の2西海岸開発事業の次のページに移って、負担金のほうが那覇港管理組合への負担金もあると思いますけれども、これまでの累計で幾らかをお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 松永雄一郎西海岸開発課長。

○ 松永雄一郎 西海岸開発課長 お答えいたします。令和元年度までの総額で約33億円となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 その下のほうに行きます。備考の4牧港補給地区まちづくり活動支援事業の事業内容お伺いいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。牧港補給地区まちづくり活動支援事業につきましては、これまでずっと支援をしてきております。平成24年度に結成された若手の代表チームということでチームまき

ほ21をこれまでずっと支援させて、皆さんの御理解をいただいて今日まで至っております。この事業なのですけれども、一応一括交付金、ソフト交付金を活用しまして今年度が最終事業、最終年度にはなります、予算上は。それで、今年度は取りまとめ、アンケートの取りまとめも含めて提言書をつくると。次年度においては、その提言書、これまでの活動してきた支援事業の中で提言書の取りまとめを今年度行って、来年度また提言をします。その提言内容をまた広報活動しながら、次の跡地利用計画の策定、その中でその内容を生かしつつ、将来的にはその内容が法定協議会に移っていったって具体的に事業が動くということになっていくものと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 提言書は、それではもう一度改めて、いつ頃できる予定とおっしゃいましたっけ。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢諭企画課技幹。

○ 知念賢諭 企画課技幹 お答えいたします。一応提言書の取りまとめは今年度、今年度に提言書を取りまとめるということになっております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 キンザーの跡地利用計画との関係で次のページ、156ページ、備考の8の主要施策立案事業の（4）の負担金、補助及び交付金の負担金の部分の説明で企画課の調書、歳出の2の説明のほうで牧港補給地区跡地利用計画に関する先進地視察に必要なためという説明ありますけれども、これについての説明を、どちらを視察したのか、どういう目的で視察したのかお聞きします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 お答えします。これにつきましては、先進地、本土のほうで、本州のほうでは幾つか軍用地跡地に都市開発を行って整備された事例がございまして、昨年度におきましては三井不動産グループがまちづくりに参画し、「公民学」連携により開発をした千葉県柏市柏の葉という地区がございまして、そちらで新たな次世代を見据えたまちづくりの事例ということで担当技幹、職員2人が訪問し、状況を見てきたという内容になっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 先ほどの牧港補給地区まちづくり活動事業のほうも提言書を出して法定協議会に行くと、今も視察してきましたということですのですけれども、その跡地利用計画、その改定というか、改めての策定というか、それについて今後のスケジュールというのはどのように今考えているのかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢諭企画課技幹。

○ 知念賢諭 企画課技幹 すみません、お答えする前に先ほど少し訂正ございます。提言書の取りまとめなのですけれども、今年度に取りまとめをするということに訂正させていただきます。よろしくお願いいたします。今後の跡地利用の計画の策定なのですけれども、現在つくられているのが平成24年から始まって25年ということで少し見直しが必要だろうと、社会情勢の変化もありまして。では、今後どうするかということなのですけれども、昨年度懇話会を立ち上げました。懇話会というのは、軍用地主会を中心に、あと軍用地主の若手メンバー、チームまきは21、そして本来基地の中にあった地域、部落ですね、小湾、城間、その郷友会の皆さん、そして関係する自治会の皆さん、沖縄県、国、浦添市と一緒に今懇話会の中でキャンプ・キンザーの跡地利用計画、将来どういう方向に導いていくのかということをお真剣に話し合っております。

す。23日にもその話し合いをまた行います。そういう話し合いを継続しながら、地主の協力も得ながら、ある程度、一定程度熟議がなされたと、見えてきたと判断したときにもう一度再委託をして、この案でいくという業務を発注しようかなと考えております。令和3年度まではこの地主の皆さんの理解、協力なしには計画がつかれませんので、そこに注力したいというふうに考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今懇話会立ち上げて議論しているという説明だと思うのですが、今時点で何かしらの、現行のものとはここが変わるかなとかという見通しだとかがあるのですか、それともまだそういう段階ではないのか。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。今現在、正直申し上げましてそこまで至っていないと。昨今の情勢の変化、目まぐるしく今動いておりますので、その辺も含めて総合的かつ総体的に地主の皆さんの合意を得て、こういう部分はこういうふうに直していこうではないかとみんながまとまったときに初めて具体的な可能な計画が動き出すという段階なので、今年度いっぱい、とにかく今状況の変化をみんなで共有しながら、合意できるように全力を尽くしたいというふうに考えております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 幅広い市民の皆さんの意見の集約というのはどのタイミングで行う予定かお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念賢論企画課技幹。

○ 知念賢論 企画課技幹 お答えいたします。幅広い市民というその意味合い、かなり広い意味も含んでいらっしゃるかと察します、委員御指摘の点については。ただ、私たちが行政実務で跡地利用を進めるに当たっては、どの段階でどれぐらいの意見を集約するかという話になると思うのですが、取りあえず法定協議会の設立に向けて卵からようやくひなになって、ようやくみんなで議論ができる状態に今なってきたので、それを踏まえた上で、ある一定の時期が来ましたら、もちろん市民からのパブリックコメントも必要であろうし、いろんな御意見、また御批判についても耳を傾ける時期が必ず来ると考えております。その時期が来ましたら、また皆さんにも御案内したいというふうに考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に2款5項1目、2目についての説明を求めます。知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 決算書のほうは179ページ、180ページをお開きください。2款5項1目統計調査総務費の備考欄の2番、統計調査事業、続きまして2款5項2目基幹統計費、備考欄の1番、基幹統計調査事業が企画課所管となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 5項に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に総括質疑に移りたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午前11時00分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午前11時01分)

それでは、企画部所管に対する総括質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 1点目は、市長の選挙公約の達成率というものについて、一般質問でも回答あったのですが、66項目あって、何項目でしたかは見通しついている、あるいは着手していますよという答弁だったので、改めてその説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 お答えします。松本市長が2期目に掲げた66項目、おっしゃるとおりですが、これらの公約につきましては、旺盛な行政需要の中、限られた財源であったり、時間的な件で、限られた時間の中で最大の効果を発揮するため、個別の政策の優先度を精査しながら取り組んでいるところでございます。この公約の進捗状況につきましては、66項目中の56項目につきましては、その達成に向けスケジュールが確立して進捗しており、残りの10項目につきましては現在鋭意取り組んでいる状況となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 その資料、どの項目が着手、スケジュール確定していますよとかという中身についても、いただきたいのですが、それについていかがでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 知念伸男企画課長。

○ 知念伸男 企画課長 各部局の調整をした内容を取りまとめておりますので、提供は後ほどというのでよろしければ可能となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ぜひよろしくをお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午前11時03分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午前11時05分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ぜひ私には後で資料頂ければと思いますので、よろしくお願いします。あと1点、今那覇港管理組合において県民に対しての幅広い調査をするに当たって、その調査の詳細な図が前もって説明なかったよということで浦添市も抗議したりということがありますが、その状況、現在どういう状況になっているのか説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 松永雄一郎西海岸開発課長。

○ 松永雄一郎 西海岸開発課長 ただいまの御質疑にお答えいたします。現在意識調査自体は那覇市と浦添市が抗議文を出して、那覇港管理組合はそれを重く受け止めて、意識調査については中断、止まっているところでございます。今、先日第6回の浦添ふ頭地区調整検討会議においてこの意識調査の説明がございまして、ただし浦添市としては今現在のこのままの形ではやる必要がないのではないかと、市民の声を広く聞くことに関しては否定するものではないのですが、この意識調査の後にパブリックコメントも取りまして、この段階で取る必要はないのではないかとということで、という意見をしてございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今の段階で取る必要はないという意見を言った。パブコメ等の段階でやる、パブリッ

クコメントというのはいつ予定していますか。

○ 仲里邦彦 委員長 松永雄一郎西海岸開発課長。

○ 松永雄一郎 西海岸開発課長 お答えいたします。パブリックコメントは、計上案が今年度でまとまりまして、次年度より長期構想検討委員会に入っていきます。その中の途中の段階で計上案等に対してパブリックコメントを取るようになります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 計上案が決まった後のパブコメと計上案そのものについての県民の意見を幅広く聞くということについてはやってもいいのかなというふうにも思うのですけれども、それはいかがですか。いわゆる固まる前に、固まってしまった後で県民の意見聞きますよと言っても、固まった民港の計上についての意見しか言えないわけですよね。そうではなくてもっと幅広く、そもそものところからの声を聞くということも否定するものでもないのかなというふうにも思うのですけれども、それも否定しますか、浦添市としては。

○ 仲里邦彦 委員長 伊波 隆西海岸開発局長。

○ 伊波 隆 西海岸開発局長 通常の港湾改訂の作業の一環としてパブリックコメント、それから環境影響評価の委員会とも意見も聞くことにはなっております。通常それで計画の改訂の作業は進められるというふうに考えています。今回我々が抗議したのは、まず事前に説明をいただくということであったにもかかわらず説明もなく実施したということと、それから合意もされていない図面が見直し案として提示されたことに対して抗議したものですけれども、実際に中身を見てみますと、先ほど言いました合意のない、調整もない図案が見直し案として提示されたことに加えて、それをイメージとして示したという、これはアンケートを取るに当たってイメージ操作につながりかねないということ。それからもう一つ、物流に関しての必要性は説明があったのですけれども、リゾートに関しての説明がないと。偏った説明でのアンケートについてはいかがなものかということで抗議したところでございます。それとあわせて、我々がこの調査に疑問を持っているもう一つの理由が、この調査を実施するに当たっての起案の中で一番大事な浦添ふ頭地区調整検討会議の議長を務めている那覇港管理組合の次長の承認が得られていない。それから、浦添ふ頭地区のプロジェクト推進室、浦添市から出向している部長級の参事、その参事の起案の中で承認が得られていない。本来浦添ふ頭地区の計画改訂に反映させるのであれば、この2人の承認なしで調査を実施するということは甚だ疑問に感じておりますので、その辺のところも精査した上でやる必要があるかと思っています。基本的には我々としては通常のパブコメ等で改訂は可能というふうに考えているところです。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 私詳細については把握してはいないところですが、この事務手続的な疑義が皆さんのほうからあるということでの抗議ということについては、それは皆さんの立場としてやったのだろうというふうに思います。その上で今お聞きしたいのは、那覇港管理組合としての今言った手続というものがしっかり踏まれて、皆さんに前もって説明があったときに、今言った民港部分が固まった後のパブコメという意義よりも、今現在においては新聞紙上、あるいはネット上、今浦添の西海岸どうするのかという意見がかなりいろんなところから出てきていて、議論そのものが活発になっているという段階の中で、那覇港管理組合がこれ意見聞きましょうかといったときに、浦添市として意見を取ることも拒否すると、やる必要はないという立場なのかというのを改めて確認したくて。いわゆる手続が踏まれて、皆さんのほうにやろう

よということであつたときには、別にいいよとなるのか、それとも、いや、それでも駄目だとなるのか。

○ 仲里邦彦 委員長 伊波 隆西海岸開発局長。

○ 伊波 隆 西海岸開発局長 先ほども御説明しましたけれども、今回実施しようとした調査がなくても、港湾計画の改訂はできるというふうに考えています。それとあわせて、構成団体と那覇港を含めて今年度内に計上案を作成すると、まとめるということになっていまして、実際に内部では来年の1月までに進めるというスケジュール感を持ってやっておりますので、そのスケジュール感の下で考えた場合には、先ほど課長からも説明ありましたが、意見を聞かないということではないのですけれども、基本として我々としてはそうでなくても改訂は進められるというふうに考えています。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 否定はしないということでの理解でいいですか。いいです。それが分かれば。今のタイミングで調査、アンケート取ることについても別に否定しているわけではないよというスタンスでいいですか、そういう理解で。

○ 仲里邦彦 委員長 伊波 隆西海岸開発局長。

○ 伊波 隆 西海岸開発局長 我々としては、通常のパブリックコメント、それから環境影響評価の意見を聞いた通常のスタイルでできるというふうに考えていますよ。ですから、意見は聞くという、そういう姿勢はありますけれども、なぜ今必要なのか、よっぽどの理由がない限り必要ないというふうに考えています。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、以上で企画部に対する審査を終了いたします。企画部の皆さん御苦労さまでした。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午前11時13分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午前11時25分)

教育部所管に係る一般会計決算審査を行います。

早速所管部長の総体的説明を求めます。仲間陽子教育部長。

○ 仲間陽子 教育部長 それでは、教育部所管の令和元年度一般会計歳入歳出決算につきまして、総体的に御説明申し上げます。初めに、歳入でございます。歳入総額4億246万2,784円、対前年度比3億2,103万3,636円の減、率にして44%の減となっております。減の主な要因といたしまして、11款国庫支出金におきまして、仲西中学校防音機能復旧事業の事業完了に伴う8,982万5,000円の皆減、12款県支出金におきましては、浦添小学校屋内運動場改築事業の1億2,754万3,000円、港川小学校屋内運動場改築事業の1億9,785万6,000円のそれぞれ事業完了に伴う皆減が主な要因となっております。また、17款諸収入におきましては、AIM・ユニバースによるてだこホールのネーミングライツが令和元年の10月より開始されたことにより、500万円の皆増となっております。次に、歳出でございます。歳出総額15億9,901万4,717円、対前年度比2億6,067万9,597円の減、率にして14.0%の減となっております。減の主な要因といたしまして、浦添小学校屋内運動場改築事業の2億8,432万3,463円及び港川小学校屋内運動場改築事業の4億5,699万3,660円の事業完了により皆減が主な要因となっております。また、教育部所管の沖縄振興特別推進交付金事業は、文化財課のありんくりんクリーン事業、地域資源復元推進事業、歴史・文化ガイダンス強化事業、悠々ロマン漆

に出会うまち浦添推進事業でございます。以上、教育部の令和元年度一般会計歳入歳出決算を総体的に御説明いたしました。詳細につきましては、担当課長等から説明させていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 次に、歳入10款の説明を求めます。野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 決算書32ページをお開きください。10款1項10目教育使用料、2節小学校使用料、備考欄1の(3)職員駐車使用料(学校総務課)、続いて3節中学校使用料、備考欄1(2)職員駐車使用料(学校総務課)につきましては、令和2年度組織再編により教育総務課所管でございます。主な増減といたしまして、小学校職員駐車使用料の増がございます。港川小学校校舎改築の終了に伴う利用再開による対象件数53件増によります対前年度比274万6,000円、13.16%の増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 お手元の決算書31ページ、32ページをお開きください。10款1項10目教育使用料、2節小学校使用料、備考欄の1学校施設使用料、(1)学校施設使用料(施設課)、(4)行政財産使用料(施設課)、同じく3節中学校使用料、備考欄の1学校施設使用料、(3)行政財産使用料は、施設課所管分でございます。2節小学校使用料の(4)行政財産使用料につきましては、対前年度、額にして25万4,619円の増となっております。理由としましては、神森小学校敷地の一部を神森幼稚園、神森認定こども園への一時使用による増でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書33ページ、34ページをお開きください。10款1項10目教育使用料、5節社会教育使用料、備考欄2美術館使用料から備考欄6浦添城跡ガイダンス施設入館料までが文化財課所管でございます。前年度と比較しまして38万3,637円の減、率にして8%の減でございます。主な要因といたしましては、美術館観覧料が54万8,310円の減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 同じく決算書31ページ、32ページをお願いいたします。学校施設使用料(文化スポーツ振興課)、3節中学校施設使用料、備考欄1学校施設使用料のうち(1)学校施設使用料(文化スポーツ振興課)は、文化スポーツ振興課所管でございます。学校開放事業に係る使用料でございます。小学校使用料につきましては、対前年度比として2万7,580円増となっております。こちらは、平成30年度につきまして港川小学校体育館が1年間使われなかったことから増となっておりますけれども、コロナの影響により2月の中旬から3月の中旬まで一部使われなかった期間がありましたけれども、そういった理由から一部増となっております。中学校につきましては、対前年度比として9万6,460円減となっております。こちらは、コロナの影響によって2月、3月に休館があったためとなっております。続きまして、決算書の33ページ、34ページをお願いいたします。同じく10目教育使用料、6節社会体育使用料、備考欄1社会体育施設使用料でございます。こちらは、行政財産使用料になっておりまして、各施設の自動販売機使用料になっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 決算書の34ページをお開きください。10款1項10目教育使用料、5節

社会教育使用料、備考欄中の上段 1 中央公民館使用料、中段の 7 職員駐車使用料、(1) 職員駐車使用料(図書館)は、社会教育推進課の所管でございます。内容といたしましては、公民館利用者使用料及び図書館職員駐車使用料となっております。対前年度比31万5,208円、率にして約8.66%の減でございます。減となりました主な要因といたしましては、新型コロナウイルスの影響による臨時休館に伴い使用料が減ったことでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入10款 1 項10目に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 32ページの 2 節小学校使用料の備考の 1 学校施設使用料の(3) 職員駐車使用料の部分で、公務使用適用の台数と、その申請のある学校数を伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 お答えいたします。小学校の公務適用台数につきましては小学校数 6 校、10件でございます。合計しますと 4 万1,000円となります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 あと、すみません、同時に聞けばよかったのですが、中学校も同様に公務使用適用台数と学校数お聞きします。

○ 仲里邦彦 委員長 野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 お答えいたします。中学校の公務適用使用数につきましては 5 校中 4 校の 11件、3 万円でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 中学校は 4 校は申請あるということですが、小学校は 5 校は申請ないということについては、周知などされているのかどうかというのは分かりますか、通知などで。

○ 仲里邦彦 委員長 野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 公務適用につきましては、平成30年度から適用してございます。公務適用の金額が適用される基準といたしまして、月に 5 日以上を公務使用した場合となりますので、ほかの申請のない学校について、全くゼロかとかということとはちょっと把握しておりませんが、5 日以上の使用があった報告として 6 校と中学校 4 校ということになります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 通知がされているかというのが一つの、いわゆる現場の皆さんに、そこがポイントだと思いますので、しっかり周知していただきたいと思います。これについて結構な額歳入があるのでけれども、これには教育的な財源に充てるべきではないかということも現場のほうからは声が聞こえてきたりするのですが、それについてはどのように考えているのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 お答えします。職員駐車使用料につきましては、現在一般財源として歳出の教育費を含みます、広く歳出事業の全般に充当されておりますので、一部ではございますが、教育費にも充当されていると考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ざっくりとそういうことではなくて、やっぱり目的的にやっていく必要あるとも思い

ますので、ぜひこれ検討してもらいたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に11款についての説明を求めます。宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 決算書の45ページ、46ページをお開きください。11款2項3目民生費国庫補助金、2節児童福祉費補助金、備考欄の7防音事業関連維持費助成事業補助金(10/10、9/10)、引き続き決算書の53ページ、54ページをお開きください。右上備考欄の2防衛施設周辺騒音防止対策事業補助金(10/10)の(1)浦添小学校校舎増築併行防音事業、同じく備考欄の6防衛施設周辺騒音防止対策事業補助金(9.5/10)の(1)浦城小学校防音機能復旧事業、同じく8、前年度繰越明許費、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金(1/3)、同じく9学校施設環境改善交付金(1/2)、続きまして3節中学校費補助金、備考欄の1防音事業関連維持費助成事業補助金(10/10、9/10)の(1)防音事業関連維持費助成事業、右下備考欄の4防衛施設周辺騒音防止対策事業補助金(10/10)、ページめくりまして55ページ、56ページをお開きください。右上備考欄の(1)仲西中学校管理・特別教室棟改築併行防音事業(10/10)、続きまして4節幼稚園費補助金、備考欄の3防音事業関連維持費助成事業補助金(10/10、9/10)の(1)防音事業関連維持費助成事業までが施設課所管分でございます。ページ戻りまして、決算書45ページ、46ページ、備考欄の7防音事業関連維持費助成事業補助金につきましては、令和元年4月1日以降、浦添幼稚園が認定こども園に移行したことによる皆増となっております。続きまして、決算書53ページ、54ページ、右側備考欄の8、前年度繰越明許費、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金は、対予算10.37%になっております。理由といたしましては、実施設計を進める中で当該ブロック塀が学校敷地でないものや設置当時の建築基準法に準拠しないものなど、国庫補助要件を満たしていないことが判明したため、一部学校を除く工事が実施できなくなったことにより歳出予算の工事費の減に伴う歳入の減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書の55ページ、56ページをお開きください。11款2項10目教育費国庫補助金、5節社会教育費補助金、備考欄1史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業費補助金から備考欄3史跡等保存整備費補助金までが文化財課所管でございます。前年度と比較しまして440万円の増、率にして約16%の増でございます。主な要因といたしましては、歳出の浦添市内遺跡発掘調査事業におきまして、昨年度牧港補給地区返還地の試掘調査を行ったため、前年度比で歳出が増加し、その分歳入が増加したためでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入11款に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 46ページの備考の下段にあります7防音事業関連維持費助成事業補助金、先ほど浦添幼稚園がこども園になったので、皆増ですという説明がありました。調書のほうですけれども、施設課調書の歳入の1のほうに説明はありまして、対予算収入率が53%ということで、その説明として認定こども園への移行に伴い、補助算定式が変わったためということですが、どう変わっているのか簡単に説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 御説明いたします。当初浦添幼稚園につきましては、小学校のほうから電源の供給をしておりました。補助金を算定するに当たりまして、小学校の実際変電所というところから分岐して幼稚園に行く、そういう計算でございましたが、実際認定こども園に移行に伴いまして幼稚園単独で補助金を算定するという事で、ちょっと計算式の結果、当初予定していた金額ということではなくて、結果的にそういう44万8,000円という結果になってございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 確認ですけれども、小学校の、国が示している算定よりもこども園になったら少し下がるかという意味ではなくて、皆さんのほうの見立てと違っていたという理由での変更という理解でいいですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 幼稚園から認定に移ったためということではなくて、やはりそういう電源の供給の計算式により、結果44万8,000円ということでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。54ページのほうで、中段の備考の8ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金の部分で補助対象外だと判明しましたということで、1点目が学校の敷地内にブロック塀がない場合があるというのと、2点目が設置当時の建築基準法に合致していないということで補助対象外となったということですが、事業への影響、危険なブロック塀というのが学校の中にまだ、中というか、周辺にあるという状況の中で、これをどうするのかということについてお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 お答えいたします。現在市内におきまして、まだ改善が必要なブロック塀が残っております。今現在応急処置としまして、改修が必要なブロック塀につきましては貼り紙等で、児童生徒が近寄らないような貼り紙をすることで周知していることが1つと、また今後につきましてもやはり早期の改善が求められる中で、どのように予算を確保しながら、またその対策方法も優先度を見ながら、できる限り対策を採択いただけるように取り組んでまいりたいと。また、年度途中でありましても、そのような財源等の見込みが出たときには、積極的に関係部署と調整して取り組んでまいりたいと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、休憩いたします。(休憩時刻 午前11時52分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後1時15分)

歳入12款の説明を求めます。島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書69ページ、70ページをお開きください。12款2項10目教育費県補助金、5節社会教育費補助金、備考欄2史跡等保存整備事業補助金、備考欄4史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業費補助金は、文化財課所管でございます。前年度と比較しまして29万3,000円の減、率にして約43%の減でございます。主な要因といたしましては、歳出の史跡浦添城跡保存整備事業におきまして、平成30年度は史跡

浦添城跡整備基本計画の改定を行いました。令和元年度はそれがないため、前年度比で歳出が減少し、その分歳入も減少したためでございます。続きまして、71ページ、72ページをお開きください。12款2項11目沖縄振興特別推進交付金、備考欄1の(12)と(13)沖縄振興特別推進交付金は、文化財課所管でございます。前年度と比較しまして1,546万7,000円の減、率にして約36%の減でございます。主な要因といたしましては、歳出の地域資源復元推進事業におきまして、平成30年度は歴史の道の整備工事を行いました。令和元年度は仲間火ヌ神の設計業務を行ったため、業務内容の異なることから前年度比で歳出が減少し、その分歳入も減少してございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 決算書の70ページをお開きください。12款2項10目教育費補助金、5節社会教育費補助金、備考欄中1沖縄県学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助金(2/3)、(1)放課後子ども教室推進事業補助金、(2)地域学校協働活動推進事業補助金は、社会教育推進課の所管でございます。対前年度比53万4,000円、率にして約11.7%の増でございます。増となりました主な要因といたしましては、放課後子ども教室コーディネーターが2人から4人に増え、活動を広めたことによる増でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 決算書の71ページ、72ページをお開きください。12款2項11目沖縄振興特別推進交付金、1節の(11)沖縄振興特別推進交付金(文化スポーツ振興課)、は文化スポーツ振興課所管でございます。こちらは、一括交付金を活用したハンドボール仕様になっております高機能床材、タラフレックスの購入費の交付金でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入12款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、13款についての説明を求めます。川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 決算書の79ページ、80ページをお開きください。13款1項1目財産貸付収入、1節土地貸付収入、備考欄中3職員駐車使用料、(2)職員駐車使用料(中央公民館分館)は、社会教育推進課の所管でございます。内容といたしましては、公民館分館職員の駐車使用料となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書の81ページ、82ページをお開きください。13款2項2目物品売払収入、1節物品売払収入、備考欄1市史売払収入、備考欄3美術館図録売払収入は、文化財課所管でございます。前年度と比較しまして14万1,594円の減、率にして約34%の減でございます。主な要因といたしましては、美術館図録におきまして平成30年度は一度に大量の購入をしていただく来館者の方がございました。昨年度は、このような大量購入の来館者がなかったため、減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入13款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に歳入14款についての説明を求めます。野村美抄代教

育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 決算書83ページ、84ページをお開きください。14款1項10目教育費寄附金、1節教育総務費寄附金、備考欄1市育英会事業寄附金は、教育総務課所管分でございます。対前年度232万円、率にして69.88%の減となっております。減の理由といたしまして、平成30年度4件の寄附に対し、令和元年度は1件の寄附であったためでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 決算書83ページ、84ページお願いします。6節の保健体育総務費寄附金、備考欄1スポーツ振興事業寄附金は、文化スポーツ振興課所管でございます。ヤクルト球団からの指定寄附になっておりまして、前年度と同額となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書の83ページ、84ページをお開きください。14款1項10目教育費寄附金、5節社会教育費寄附金、備考欄1美術館事業寄附金は、文化財課所管でございます。来館者の方が美術館のために使ってほしいということで寄附をいただいたものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入14款に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、続きまして17款についての説明を求めます。島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書89ページ、90ページをお開きください。17款3項1目教育費受託事業収入、2節文化財緊急発掘調査受託金、備考欄1、前年度繰越明許費、牧港補給地区発掘調査受託金は、文化財課所管でございます。委託元は沖縄防衛局であり、牧港補給地区内の施設移転に伴い移転先の発掘調査を行ったものでございます。続きまして、107ページ、108ページをお開きください。17款2項3目雑入、10節教育費雑入、備考欄5社会教育費雑入のうち、（1）実習謝礼金、（2）コピー使用料、（4）実習教室受講料、（5）送電線用地使用料、（7）施設電力使用料、（9）施設電力使用料、（10）再生利用物売払金は、文化財課所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 決算書105ページ、106ページです。雑入、10節教育費雑入、備考欄1教育総務費雑入、（1）雇用保険料、続きまして備考欄2の（5）職員駐車使用料（過年度分）につきましては、教育総務課所管分でございます。職員駐車使用料（過年度分）につきましては、平成28年度分の1人の方の納付でございます。これにより未納分はございません。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 決算書の105ページ、106ページをお開きください。17款4項3目雑入、10節教育費雑入、備考欄の2小学校費雑入、（3）建物総合損害共済災害共済金、ページめくりまして107ページ、108ページをお開きください。右上備考欄の4幼稚園費雑入、（3）建物総合損害共済解約返戻金（施設課）は、施設課所管分でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 107ページ、108ページをお願いいたします。10節教育費雑入、備考

欄5 社会教育費雑入のうち、(11) ネーミングライツ料、(13) 補助金返還金、ページをめくりまして、同じく10節教育費雑入、備考欄6 保健体育費雑入のうち、(3) ネーミングライツ料、(4) 施設電力使用料(文化スポーツ振興課)、(5) 補助金返還金は、文化スポーツ振興課所管でございます。ページ戻りまして、社会教育費雑入の(11) ネーミングライツ料は、令和元年10月1日よりてだこホールのネーミングライツをしまして、株式会社アイム・ユニバースが5年間取得する協定を交わし、アイム・ユニバースでだこホールの愛称がつくことになりました。そのことによる皆増でございます。(13) 補助金返還金は、文化芸術振興事業実行委員会がてだこホールを利用し、事業の実施を行っていましたが、てだこホールの時間外施設利用料の返還があったことから、利用料返還相当額の補助金の返還となっております。ページめくりまして、備考欄6の保健体育費雑入についてです。(3) ネーミングライツ料は、ANA SPORTS PARK 浦添の命名権でございます。平成30年度は、半年分の900万円でしたが、令和元年度は1年分の1,800万円で、900万円の増となっております。(4) 施設電力使用料につきましては伊奈武瀬球場に設置を許可しました自動販売機の電気料でございます。最後に(5) 補助金返還金につきましては、浦添市スポーツ協会の平成30年度補助金の精算金84万5,515円のうち54万5,515円が令和元年度に返還されたもの及びそれに伴う遅延金981円の合計でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 決算書の108ページをお開きください。17款4項3目雑入、10節教育費雑入、備考欄中の5 社会教育費雑入の(3) 再生利用物売払金(図書館)、(6) 施設電力等使用料(中央公民館)、(8) 施設電力使用料(図書館)、(12) 自動車損害共済解約返戻金(図書館)は、社会教育推進課の所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入17款に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 110ページの備考の(5)の補助金返還金、どこの補助金とおっしゃいましたか。遅延損害金もあるとは言っていたのですけれども、改めて、すみません、確認ですけれども。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 浦添市スポーツ協会の補助金の返還金でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 いきさつの説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 令和元年度に交付しました補助金につきまして、令和元年5月に補助金の確定を行いました。そのことによりまして先ほど申した84万5,515円の返還金が生じました。そのことにつきまして、同年の5月30日まで返還するように通知をいたしましたけれども、資金繰りが厳しいということから30万円のみを返還していただいて、翌月の6月に残りの54万5,515円が返還されました。それによる遅延金が981円となっております。以上です。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後1時31分)

○ 仲里邦彦 委員長 開会いたします。

(再開時刻 午後1時32分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 休憩で説明していただいたので、流れは確認できました。その補助金の返還の理由は何ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 補助金の事業精査をしまして、補助金に適用しているのかどうかを精査いたしました。それによって不要というか、補助金に該当しない部分が84万余りあったことから返還をお願いしたということです。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 具体的にどの部分が補助金に該当しなかったのですか。

(「休憩」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 1 時33分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 1 時35分)

末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 平成30年度から体育施設の指定管理者が外れたことによって、ちょっと資金繰りが厳しくなったということになっております。その分について、実際臨時職員を任用していたのですけれども、その分の補助金の額が本市の規定を超えている金額でありましたので、そこら辺の補助金を超える額は認められないという形のもの为主なものだったと認識しております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 補助金交付規程の中に人件費の上限額まで指定がありましたっけ。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 規程というよりは、浦添市の臨時職員の相当額の補助金を出しております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ちょっとよく分からないのですけれども、浦添市の臨時職員の賃金分の補助金を出して、それ以上の補助、賃金を出していたから返還という、そのほかの部分というのは、総額のうちの臨時職員の部分を超えていたから返還ということで、返還理由が、そういうふうなものがありますか。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 1 時37分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 1 時38分)

末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 平成30年度につきましては、トータルで補助金の額を808万1,000円交付しております。その中で、先ほど言ったとおり、事業費に充てられる部分等を精査していきましてところ、臨時職員等を含む運営費に該当されるのが205万7,202円で、県民体育大会の事業費が315万223円、派遣費、こちらも県民体育大会等のユニホーム代とか、そういった事業費が219万4,060円、県民体育大会の負担金の部分が55万円、トータルで795万485円という形が補助金の該当するという精算を行ったところ、その差額分の返還をお願いしたということです。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 補助金交付額に満たない、補助金に充てられるものが満ちていなかったからという理解でよろしいですか。先ほどの臨時職員の賃金がそれを超えていたからとかということではない。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 そちらも一部要因がありまして、こちらの給与でいいますと、臨時職員の給与を聞くと200万余りになっておりまして、先ほどお話ししたとおり、本市の補助金のというか、臨時職員に相当する額が187万2,000円という形でありますので、協会としてはそこも全部補助金で充てたいという意向はあったのですけれども、こちらとしては精算して自主財源分という形で、それは認められないという形で最終決定としては187万円が臨時職員補助金分として充てております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今の説明ですけれども、補助金を交付するに当たっての臨時職員の賃金については、浦添市の臨時職員の給料を超えてはならないというような規定があるのですか。その確認ができればいいのですけれども。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 こちらのほうは、明確な規定はございません。超えてはいけないという形はないのですけれども。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 その辺が、超えてはならないという規定ない中で、その運営主体としては返還となると当然困ってくると思うので、その辺りはどのように考えているのか。ちなみに、これまでの補助金額、補助金もこれまでも交付していたと思うのですけれども、その人件費については浦添市の臨時職員の範囲内ということでこれまでも、平成29年度ですか、も交付をしていたのですか。それとも、平成30年度、新たにそういう取扱いになったのですか。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 こちら先ほど申したとおり、指定管理者を実施しているときにそういった予算はやっていたのですけれども、平成30年度から指定管理者が替わったもので、変更があったという認識しております。平成29年度まで指定管理のほうで予算は見ていたということです。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ちょっと時間がもう来ているので、いずれにしてもこの補助金交付団体に対しては、そちらのほうで支障がないように、事前にそういう調整などを行ってやっていただければと要望して終わります。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、歳出のほうに移りたいと思います。3款2項1目に対して説明を求めます。宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 それでは、決算書219ページ、220ページをお開きください。3款2項1目児童福祉総務費、備考欄の31認定こども園管理事業(施設課)の(1)から(3)までが施設課所管分でございます。こちらは、歳入でも御説明申し上げたとおり、平成31年4月より浦添幼稚園が公立型認定こども園へ移

行したことによるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 3款2項に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に8款3項5目に対しての説明を求めます。末広良憲 文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 決算書の303ページ、304ページをお願いいたします。8款3項5目 公園費、備考欄11浦添運動公園施設管理事業は、文化スポーツ振興課でございます。こちらは、10款の体育施設の指定管理と同様に管理につきましては平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間の指定管理料でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 8款3項5目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、次に10款1項1目、2目までの説明を求めます。野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 決算書315ページから322ページでございます。10款1項1目教育委員会費、備考欄1教育委員会運営事業、ページをめくりまして317ページ、318ページでございます。2目事務局費、備考欄4教育総務課事務費、次のページ、320ページです。備考欄6嘱託・臨時職員雇用事業、備考欄8教育委員会表彰事業、備考欄9学校総務課事務費、次のページ、322ページです。備考欄12育英会補助事業は、教育総務課所管でございます。主な増減につきましては、318ページの備考欄4教育総務課事務費の臨時職員任用に係る経費の178万5,944円の皆増による対前年度237万8,259円、112.01%の増と、322ページです。備考欄12育英会補助事業におきまして、歳入で受入れをしました寄附金の減により対前年度232万円、67.84%の減でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 決算書の321ページ、322ページをお開きください。10款1項2目事務局費、備考欄の11施設課事務費、(1)から(9)までが施設課所管分でございます。対前年度比、額にして168万1,837円の減となっております。その主な理由といたしまして、その前年度、平成30年度に車両購入したことによるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 10款1項1目、2目に対しての質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 318ページの備考の4教育総務課事務費の中で、調書のほうの歳出の7の中段のほうに説明がありまして、浦添市立学校適正規模等審議会委員報酬について当初予算額が24万4,000円であったけれども、審議会を開催しなかったという説明がありますが、その経緯をお伺いいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 お答えいたします。ただいまの審議会につきましては、令和元年度は審議会の開催がなかったために執行率がゼロとなっております。緊急開催対応のため3回分程度を予定して措置しておりました。その前は平成30年度、当山小学校分離新設の候補地の選定についての審議が4回ございました。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 この経緯見ると年度途中で、当初は3回審議会をやる予定だったけれども、臨時でやる予定だったとおっしゃいました。もともとやる予定ではなかったということですか。でも、予算化しているということは、やる予定だったけれども、それがなくなったと思うのですけれども、どのような。

○ 仲里邦彦 委員長 野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 お答えします。同審議会につきましては、令和元年度は特に予定しておりませんでした。緊急開催の必要が出た場合にすぐに対応できるように3回程度を予算措置していたというものでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 次の次のページ、322ページの備考の11施設課事務費の委託料に、これもまた施設課調書の歳出の2、上段の部分、当山小学校分離新設校位置選定調査業務委託料、これについては408万1,000円補正で増したけれども、繰り越したと。その経緯についても伺いたします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 経緯について御説明いたします。6月補正の理由ですが、平成31年2月、平成30年度ですけれども、先ほども御説明ありましたように浦添市立学校適正規模審議会より学校設置場所はゴルフ場のほうが最も望ましい場所であるという答申が平成30年度に出されております。そのゴルフ場の中から、敷地が6.3ヘクタールもあるということで、その中から2ヘクタール、どの位置が適切かということで、その位置選定を業務委託により6月補正にて予算経費を上程させていただいております。この408万1,000円につきましては、その後ワーキングチームを設立しまして、立ち上げまして、そのワーキングチーム立ち上げまでの期間と設置後のもろもろの検討業務に不測の日数を要したことから、当該年度に全て支出が厳しくなり、また次年度へ繰越しを行ったということでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 では、流れとしては審議会が平成31年2月にある一定ゴルフ場という方向性を出して、令和元年度は緊急に3回分を予定していたというのは、不測の事態に備えて予算は置いていたということですか。今施行しているので、そういうことで。ワーキングチームができて、ワーキングチームはどういうことをやるチームですか。どういうことをやっていたのか、令和元年度は。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 一部繰り返しになりますが、審議会、平成31年2月に答申内容におきましてはゴルフ場が最も適切という答申内容でございました。このゴルフ場用地が6.3ヘクタールもの広大な敷地となつてございます。この広大な敷地の中のどの位置が最も学校用地として適切かということで、その適切な位置を決めるに当たって市の横断的組織を、関連する部署の各管理者を委員として集めまして、ワーキングチームとして立ち上げております。その目的は、ゴルフ場の中から学校位置がどこだということが主な目的なのですが、また審議会の答申で付記事項のあったものも加えて検討を進めているというところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 先ほど言っていたのは繰り越し、さっき言った業務、408万円の位置選定調査業務を繰り越した理由というのは、ワーキングチームに係る支出があったからというような説明をしていましたか。

なぜ繰り越したのかをもう少し説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 こちらの業務委託とワーキングチームはちょっと分けて考えていただきたいのですが、まずワーキングチームを立ち上げた後にそのゴルフ場の中からどの位置だというものを支援業務として委託、発注したものが408万円でございます。ですので、ワーキングチームが発足までに各要綱、また設立してスタートした後に支援業務委託を発注、契約しまして、そのワーキングチームで検討する、立ち上げるまでの期間と、またワーキング立ち上げた後のもろもろの議論、協議等に不測の事態、不測の日数を要したことで繰越しに至ったと、またその業務委託もワーキングチームの検討に併せて繰越しを行ったというところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 これについては、もう委託はしているのですか。現在どういう状況ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 去る8月で完了しまして、現在はワーキングチームのほうで各地主会に対してアンケート調査等を予定しているところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 その委託の結果、どういう結果が出てきたのか説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 現在ワーキングチーム、またこの支援業務で検討、また調査した結果、おおむねゴルフ場の中の真ん中辺りの位置が学校用地として適切ということで、ワーキングチームの考え方を取りまとめ、今行っているところです。今後につきましては、また地主会等へ丁寧に説明しながら、その実現に向けて進めてまいりたいと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 それは、成果物としてももう上がってきているということによろしいですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 現在報告書の製本をしているところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に2項1目、3目についての説明を求めます。野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 決算書333ページから334ページです。10款2項1目学校管理費、備考欄1小学校運営事業(学校総務課)9,941万8,053円のうち、(1)報酬から(4)旅費までの6,031万3,116円が小学校11校における学校事務等の32人分の任用に関する経費が組織再編により教育総務課所管となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 決算書の335ページ、336ページをお開きください。10款2項1目学校管理費、備考欄の5小学校管理事業(施設課)の(1)から(6)委託料と、ページめくりまして337ページ、338ペー

ジの10款2項3目学校建設費、備考欄の1 仲西小学校校舎耐震改修事業、2 浦添小学校防音機能復旧事業、3 浦添市立小学校ブロック塀改修事業、備考欄の4 浦添小学校校舎増築事業、(1) 委託料までが施設課所管分でございます。決算書戻りまして335ページ、336ページ、備考欄の5 小学校管理事業(施設課)につきましては、対前年度比にして約79.47%、額にして2,325万7,770円の減額となっております。これらの主な要因といたしまして、工事請負費にございますが、平成30年度は発生した台風等による被害対策費やプールの大規模改修等により、令和元年度と比較して大規模工事が多かったことによるものでございます。また、前年度繰越明許費の(6) 委託料につきましては、宮城小学校、沢峠小学校校舎の耐力度調査を実施した分でございます。決算書めぐりまして337ページ、338ページ、備考欄の3 浦添市立小学校ブロック塀改修事業につきましては、(1) から(2) までは令和元年度9月補正予算により防衛省の再編交付金を活用しまして浦添小学校ブロック塀の改修工事を事業化したものであり、また前年度繰越明許費の(3)、(4) は平成30年度12月補正予算により神森小学校ブロック塀の改修工事を文部科学省補助を財源として事業化した分となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 2項1目、3目に対しての質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 338ページの3目学校建設費の備考の3、今説明がありました、浦添小学校のブロック塀の工事、神森小学校のブロック塀の工事という説明がありましたが、先ほど歳入の部分で補助対象外だと判明したということで、事業そのものがほかの部分についてまだ執行できない状況があるということも説明ありましたが、今どの学校に危険なブロック塀があって、これまでどの学校の危険なブロック塀の改修工事が完了している状況なのか、説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 ただいまのブロック塀について御説明いたします。現在のところ、まず対策した学校ブロック塀から御説明いたします。平成30年度に仲西小学校ブロック塀を改修しております。令和元年度、昨年度ですけれども、先ほど説明のように浦添小学校のブロック塀を全て完了済みです。神森小学校のブロック塀については、一部残っているところがございますが、おおむね完了となっております。残りのブロック塀でございますが、残り牧港小学校、当山小学校、内間小学校、港川小学校にて改修が必要なブロック塀が残っております。中学校につきましては浦添中学校、神森中学校の2校でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 休憩をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後2時03分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後2時03分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。終わったところが3か所、まだのところが6か所。この6か所についてどのように改修していく予定なのか、具体的に今の時点で見通しがあるかどうかをお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 改修が必要になるブロック塀につきましては、やはり今直近といたしまして次年度予算に要望しているところがございます。予算要求自体は今からなのですけれども、その前の実施計画等

で要求しているところでございます。今後につきましてもやはりその優先度をしっかり見ながら、しかしながら児童生徒、また安全優先とした対策をどのようにできるか、また関係部署と協議もしながら、しっかりまた情報収集しながら、また国の動向も見ながら、あらゆるその可能性について視野を広げながら取り組んでいきたいと思っております。

（「休憩お願いします」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 2 時05分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時06分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 そもそもこれ国の補助の対象外というところであれば、むしろなおさら改修急がないといけないところだし、民地と学校の敷地内にまたがっているだとか、そういったことも危険なブロック塀をやっぱり一刻も早く改修していくという意味では、そういう条件というのはどんどん緩和して、すぐこれやっていくという必要あると思うのですけれども、国に対してもそういうことを市として求めたりというのをしたことがありますか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 お答えいたします。直接国にということはございませんが、県のほうの担当者、また班長あたりにつきましては、やはりそういう補助の要綱等の緩和についてお話は何度かさせていただいておりますが、やはりその制度が確立された上では現行に至っているというのが現状でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 先ほど次年度についても努力していくという答弁もありましたので、ぜひこれについては小中学校、倒壊の危険のあるブロック塀は一刻も早く改修されるべきものだと思いますので、努力していただきたいと求めます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に 3 項 1 目、3 目についての説明を求めます。野村美抄代教育総務課長。

○ 野村美抄代 教育総務課長 決算書339ページから340ページを御覧ください。10款 3 項 1 目学校管理費、備考欄 1 中学校運営事業(学校総務課)5,126万5,786円のうち、(1)報酬から(4)旅費までの2,760万7,532円が中学校5校における学校事務等15人分の任用に関する経費が組織再編等により今年度から教育総務課所管となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 決算書の341ページ、342ページをお開きください。10款 3 項 1 目学校管理費、備考欄の 5 中学校管理事業(施設課)、(1)から(5)工事請負費までと、ページめくりまして343ページ、344ページをお開きください。10款 3 項 3 目学校建設費、備考欄の前年度繰越明許費、1 浦添市立中学校ブロック塀改修事業、2 仲西中学校管理・特別教室棟改築事業までが施設課所管分でございます。備考欄の前年度繰越明許費の(1)は、歳入の際に御説明申し上げましたとおり、平成30年度12月補正予算により事業化

した分となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 3項1目、3目についての質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に4項1目、2目についての説明を求めます。宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 同じく決算書の343ページ、344ページをお開きください。10款3項1目幼稚園管理費、備考欄の2幼稚園管理事業(施設課)、(1)から(4)までが施設課所管分でございます。幼稚園管理事業につきましては、対前年度比44%、額にして1,247万602円の減額となっております。この主な理由といたしまして、平成30年度は工事請負費におきまして、台風被害対策のほか沢峠学童クラブ建設に伴う旧沢峠幼稚園プレハブ園舎の撤去費、また前田幼稚園プレハブ園舎の撤去費などが完了したことに伴い、令和元年度の対前年度比は減額となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 4項1目、2目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでありますので、5項1目、2目に対しての説明を求めます。島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書の355ページ、356ページをお開きください。10款5項1目社会教育総務費の備考欄12文化財課事務費は、文化財課所管でございます。文化財係、史跡整備係合わせて職員10人の時間外手当でございます。前年度と比較しまして1万3,148円の増となっております。次に、2目の文化振興費ですが、同じく355ページ、356ページ、備考欄2文化財保護運営事業から、ページめくっていただきまして決算書364ページ、備考欄13文化財課事務費までが文化財課所管でございます。前年度と比較しまして5,763万8,293円の増、率にして約60%の増となっております。前年度比で増となった主な事業としましては決算書360ページ、備考欄5浦添市内遺跡発掘調査事業が前年度から917万7,656円の増、率にして約60%の増となっております。主な要因といたしましては、令和元年度に牧港補給地区返還地の試掘調査を行ったためでございます。また、決算書362ページ、備考欄12うらそえ発掘50年展事業は、令和元年度に新たに行った事業であり、その分対前年度比増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 同じく決算書の355ページ、356ページをお願いいたします。1目社会教育総務費、備考欄13文化振興事務費は、文化スポーツ振興課所管でございます。文化振興事務費は、文化スポーツ振興課の業務のうち、文化的業務に要する職員の時間外勤務手当などでございます。こちらは、平成30年度までは文化スポーツ振興課事務費という名称でございましたけれども、同名の名称が3つあったことから、今回名称を変えております。続きまして、下段の2目文化振興費、備考欄1文化振興事業費は、文化スポーツ振興課の所管でございます。文化振興事業は、浦添市文化芸術振興事業長期計画に基づき事業を行っているものでございます。今回浦添市文化振興事業実行委員会への補助金につきましては、主に組踊のおでかけワークショップを国立劇場おきなわと連携して実施しておりましたけれども、市内の各小中学校全校実施予定でございましたけれども、3校しかできなかったことによる補助金の返還が主な理由となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 決算書の353ページ、354ページをお開きください。10款5項1目社会教育総務費、備考欄中8教育総務課事務費、9社会教育推進事業、ページをめくりまして10地域学校協働活動推進事業、11放課後子ども教室推進事業は、社会教育推進課の所管でございます。対前年度比506万1,008円、率にして約28.47%の増でございます。増となりました主な要因といたしましては、城間公民館屋根防水改修工事に伴う工事請負費等の増によるものです。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 5項1目、2目についての質疑を許します。稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 354ページ、10款教育費、5項社会教育費、備考の9社会教育推進事業の中身なのですが、今調書のほうも併せて見ておりまして、その中でてだこ学園大学院運営業務委託料370万円が計上されております。この370万円が過去に増減があったのか、そのまま370万円で、いつ頃から、もし現状維持であれば、いつからそのままなのかというところをちょっと教えてください。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 お答えいたします。浦添市てだこ学園大学院への委託料なのですが、平成30年度以前は360万円でした。平成30年度に370万円、10万円の委託料が上がっております。その増額の理由といたしましては、施設利用の際の使用料及び大型バスを利用しますので、その使用料の値上がりによるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 では、10万円ですか、増額されているということは確認しましたがけれども、役員の報酬のほうに影響があったわけではないですか。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 こちら10万円の増額については、事業費の中の使用する使用料の増額分ということでなっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 356ページ、中段の備考の11放課後子ども教室推進事業ですけれども、これは学校で学習支援とかいろいろやっているということですが、具体的に学習支援、文化活動、スポーツ活動をどういうふうに、どういふ地域の方が入ってどういふ指導のやり方を行っているのか伺います。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後2時18分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後2時18分)

川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 放課後子ども教室のプログラムの内容ですが、令和元年度、工作とものづくり、あとパソコン教室、スポーツ教室、空手、ヨガ、ソフトテニス、ダンス、あと学習支援とか宿題サポートになります。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 ごめんなさい、もう一度ちょっとゆっくり言ってください。学習支援の部分がどういふ支援で、文化活動支援部分がどういふもので、スポーツ活動部分がどういふものなのか伺います。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後 2 時19分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後 2 時20分)

川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 答えいたします。学習支援は宿題教室、算数教室、寺子屋などがございます。スポーツのほうでは空手道、ソフトテニス、卓球、トランポリン、陸上がございます。文化芸術の部分では三味線、琉舞、エイサー、ダンス、習字などがございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 これ全ての学校で取り入れているのか、そして参加が例年減ってきているその理由を伺います。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後 2 時20分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後 2 時22分)

川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 小学校11校中10校で開催しております。その中で子ども教室で対象者が減ってきているかということの御質疑ですが、スタッフの確保が厳しいということと、子ども教室のスタッフはボランティアということもありまして、働く世代のボランティアが今いない状態です。そういう中でちょっと減っているという理由になります。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 減ってきている理由は、ボランティアの方が少なくなっているということでありますが、この報酬額というのは、これどこに使われているのか伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 こちらは、関わった方の謝礼金になります。1時間500円、1日2時間以内でということで謝礼金を支払っております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 次に、11校中10校で開催しているということでおっしゃっておりました。その10校で、まず1校なぜやっていないのかというところなのですから、そこから聞きましょう。11校中1校やっていない、その理由を伺います。

(「休憩お願いいたします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後 2 時24分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後 2 時24分)

川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 沢岨小学校につきましては、平成30年度、方言教室を開催しておりましたが、その方が体調不良ということで令和元年度は実施していないということでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 何教室と言いましたか。沢岬小学校でその教室1つしかやっていなかったのでしょうか。今何教室と言いましたでしょうか。そして、その教室しか沢岬小学校ではやっていなかったのか。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 方言教室になります。沢岬小学校は、そちらのほうをやっていました。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 その方言の教室しか沢岬小学校ではやっていなかった、先ほどいっぱいおっしゃっていましたが、宿題とか算数とか三味線、文化教室とかトランポリンですとか、そういうスポーツ、いろんな種類がある中で沢岬小学校では方言教室しかやっていなかった。その中で平成30年度も方言教室も開催できなくなってしまって、今は何もやっていないという、放課後、この子たちの行き場が失われてしまっているという認識でいいのでしょうか。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後2時26分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後2時26分)

松本ゆかり社会教育推進課社会教育協働係長。

○ 松本ゆかり 社会教育推進課社会教育協働係長 お答えします。沢岬小学校は平成30年度、先ほど申し上げましたようにしまくとぅば教室を開催していたのですが、講師の方が体調不良ということで一旦解散をしております。ただし、今年度、令和2年度に関しましては、また新しくちょうちか風水人クラブということで新しい放課後教室が運営されております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 確認しますが、それは沢岬小学校ではしまくとぅば、その1事業しか、1講座しか開かれていないということなのですね。

○ 仲里邦彦 委員長 松本ゆかり社会教育推進課社会教育協働係長。

○ 松本ゆかり 社会教育推進課社会教育協働係長 はい、そのとおりでございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 全ての学校、11校で各校どういう事業、どういう講座をやっているのかお伺いします。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 各学校、浦添小では3教室、これは……

(「講座名もお願いします」と言う者あり)

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 浦添小学校で浦添小学校放課後子ども教室、キッズクリエイティブラボということをやっています。2に茶山自治会子ども教室で工作・ゲーム・学習支援をやっております。3に浦添ニュータウン自治会のほうではスポーツ教室、夏休みの読み聞かせ、チャンプルー教室などを行っています。仲西小学校のほうでは1つの教室になります。宿題教室になります。神森小学校では2つの教室がありまして、ももいろペリカン教室、こちらのほうは昔の遊びをやっております。もう一つは神森小学校のひまわり教室、空手教室と農業体験、スポーツ体験、学習支援を行っています。浦城小学校は1つの教室です。茶道、算数教室、三線教室を行っています。牧港小では2つの教室がございます。1つは放課後子ども教室という名称でキッズヨガ、あとキッズクリエイティブラボを行っています。もう一つは果報守クラ

ブ教室ということで宿題サポート・文化プログラムを行っております。当山小学校のほうでは3つの教室がございます。西原子ども習字教室、こちらのほうは習字教室になります。2つ目は陽迎橋自治会放課後子ども教室、琴教室、琴の教室になります。3つ目が当山小学校放課後子ども教室、琉球舞踊の教室になっております。内間小学校のほうは1つの教室になります。こちら空手を主に行っております。港川小学校は、港川自治会放課後子ども教室で、空手、エイサー、習字、ヒップホップダンス、あと三線を行っております。宮城小学校のほうは1つの教室になります。みやぎっ子教室で学習支援、パソコン教室、宿題教室、バンド教室などになります。前田小学校は4つの教室がございます。前田小学校放課後子ども教室のほうは三線と琉舞、2つ目はまえだっこ子ども教室、こちらは三線になります。3つ目が浦添グリーンハイツ寺子屋教室、こちらは学習支援、卓球、料理教室などになります。もう一つはしまくとうば缶空さんしん尊敦クラブ教室ということで、こちらはしまくとうば関係になります。その他中学校になりますが、浦添中学校放課後子ども教室として浦添塾、仲西中学校放課後子ども教室は農園、茶道、三線、琉舞、琴教室。あと、浦添市子連放課後子ども教室のほうでは花壇教室とチャンプルー教室。あと一つ、てだこソフトテニス教室としてソフトテニスのほうの教室がございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

○ 仲里邦彦 委員長 10分休憩いたします。

(休憩時刻 午後2時31分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後2時40分)

質疑ございませんか。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 354ページの備考の9の社会教育推進事業の次のページに行って(8)の負担金、補助金及び交付金の中で、確認になりますが、浦添市PTA連合会補助金、そしてもう一つ浦添市婦人連合会補助金について、平成30年度と比較して増減があるかを確認いたします。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 お答えいたします。浦添市PTA連合会補助金、浦添市婦人連合会補助金は増額はございません。平成30年度と同額になります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、続きまして3目、4目、6目、8目に対して説明を求めます。川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 決算書363ページ、364ページをお開きください。10款5項3目公民館費、備考欄中2中央公民館事務費、3中央公民館運営事業、ページをめくりまして、4中央公民館管理事業、5中央公民館分館運営事業、6中央公民館分館管理事業は、社会教育推進課の所管でございます。対前年度比365万909円、率にして約9.24%の増でございます。増となりました主な要因といたしましては、職員の欠員に伴う臨時職員の任用に係る経費でございます。続きまして、決算書の367ページ、368ページをお開きください。10款5項4目図書館費、備考欄中2図書館事務費、3図書館運営事業、ページをめくりまして、4図書館管理事業、ページをめくりまして、5地域資料(浦添・沖縄)活用事業は、社会教育推進課の所管でございます。対前年度比179万5,167円、率にして約2.06%の増でございます。増となりました主な要因といたしましては、AEDと庁用車の購入のため、備品購入費の増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 決算書371ページ、372ページをお開きください。10款5項6目美術館費の備考欄1教育普及事業から376ページ、備考欄7悠々ロマン漆に会うまち浦添推進事業までが文化財課所管でございます。前年度と比較しまして584万107円の減、率にして約5%の減となっております。前年度比で減となった主な事業としましては、決算書376ページ、備考欄7悠々ロマン漆に会うまち浦添推進事業で前年比463万8,863円の減、率にして約17%の減でございます。主な要因としましては、浦添市美術館以外の施設から作品を借用する機会が前年度より減少したことに伴う美術作品梱包運搬委託料の減でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 決算書375ページ、376ページをお開きください。8目てだこホール費、備考欄1てだこホール管理運営事業は、文化スポーツ振興課所管でございます。そのうち(4)負担金、補助金及び交付金につきましては、てだこホール時間外施設利用料返還事務費の負担分206万3,375円、新型コロナウイルス影響による施設利用料の返還分91件、241万380円、合計448万1,755円となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 3目、4目、6目、8目に対しての質疑を許します。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 368ページ、図書館運営事業になりますけれども、としよまるの運用状況、運行状況、そして何かしら今までと変化があるものがあれば伺います。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後2時46分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後2時46分)

川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 としよまるのほうは、32か所のステーションがございまして、令和元年度1万8,312冊の貸出しがございました。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 その32か所、ポイントは例年から変化ないでしょうか。運行ルートとか曜日等々変更ないのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 ステーションの変更はございません。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 ルートと時間等の変更ないですか。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後2時47分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後2時47分)

川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 お答えいたします。平成30年度と令和元年度の変更はございません。以上です。

- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 では、令和元年度と令和2年度だったらあるのでしょうか。
- 仲里邦彦 委員長 與那嶺英樹社会教育推進課図書館管理係長。
- 與那嶺英樹 社会教育推進課図書館管理係長 今の御質問にお答えします。今年度、県営浦添市市街地住宅のステーションが牧港小学校へ変更となっております。あと、学校の校内の時間の変更によって一部変更したりとか、そういった調整はさせていただいております。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 分かりました。これは、今年度に変更したものであるのであれば、分かりました。としまるの貸出し状況どうですか。1万8,000冊ということでもありますけれども、今回の。過去5年ぐらいでどういう推移しているのでしょうか。

（「休憩お願いします」と言う者あり）

- 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 （休憩時刻 午後2時49分）
- 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 （再開時刻 午後2時49分）

川上あけみ社会教育推進課長。

- 川上あけみ 社会教育推進課長 としまるでの貸出しですが、先ほど令和元年1万8,312冊と申し上げたとおりでございます。平成30年度は2万1,293冊、その前の平成29年度は2万4,425冊で、毎年ちょっと貸出し数が減っている状況でございます。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 貸出しが減ってきている理由は何かあるのでしょうか。利用者の減なののでしょうか、それとも本の減少なののでしょうか。
- 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。
- 川上あけみ 社会教育推進課長 令和元年度の減少につきましては、3月末にコロナ感染の関係で利用を制限したことによるものだと思います。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 次に、376ページ、てだこホール管理事業についてですけれども、先ほどコロナの影響が出ているということでのお話がありました。400万円という数字も少しありました。もう一度、いま一度説明をお願いします。
- 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。
- 末広良憲 文化スポーツ振興課長 てだこホール時間外施設利用につきましては206万3,375円、コロナウイルスにおける利用料の返還分が91件、241万8,380円となっております。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 コロナ、令和元年度ではなくて今後も続いている中でどのような影響が出ていくのか、どのような影響が想定されるのか伺います。
- 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。
- 末広良憲 文化スポーツ振興課長 本年度に入りまして、利用率の減が大幅に見込まれていますので、減収補填等についても今後また指定管理者等と調整していきたいと考えております。以上です。

- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 減少補填分といいますと、具体的にどういうことを検討されているのでしょうか。
- 仲里邦彦 委員長 末広良憲文化スポーツ振興課長。
- 末広良憲 文化スポーツ振興課長 これまでも施設の利用の人数制限等ございまして、実際借り入れる方々が大分減ってきておりますので、そこら辺の利用料、収入の減、それについて随時協議をしていく予定になっております。
- 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 先ほどの図書館、としよまるについて利用者が減ってきているということありましたが、令和元年度は1万8,000、その前は2万1,000でした。2万4,000ということでどんどん少なくなっている。ちなみに、長期的にもう少し前の、例えば10年近く前の数字というものがありますか。
- 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。
- 川上あけみ 社会教育推進課長 お答えいたします。過去10年分の数字というのは今手元にちょっとない状態で、申し訳ございません、お答えができないのですが。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 減っていますか。分かればいいですけども。
(「休憩お願いします」と言う者あり)
- 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後2時54分)
- 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後2時55分)
- 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 いずれにしても、ここ3年は減っていますよね。この理由改めて伺います。
(「休憩お願いします」と言う者あり)
- 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後2時55分)
- 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後2時56分)
- 仲間陽子教育部長。
- 仲間陽子 教育部長 としよまるの利用者が減っているということの認識はございますけれども、具体的に分析をしてございませんので、今後詳細については分析をしていきたいと思っています。令和元年度については、コロナの影響で冊数が、3月ほとんど稼働していませんので、冊数が減っているということですが、それとの差についてはまた今後調整をさせていただきたいと思います。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 このとしよまるを導入したいきさつについては、市域の1か所の図書館ということについて、例えば勢理客とか内間地域、遠いところに分館ということも検討された経緯があると思うのです。それに対してとしよまるで対応しようということで導入して、それで分館の計画というのはもうなくなったというようないきさつがあると私理解してしまっていて、そういう中で市民により身近な図書館というものをどうつくっていくのかというのは本市にとっても今後もまだ大きな課題で、そういう大きなところで今後浦添市がどうしていくのかというのは大変大事な課題になっていると思うのです。そういう中でとしよまるの利用が減ってきているということであれば、どういうふうにそれをまた改善していくのかというところで、例

えば分館が、今後キンザーも返ってくる、東側も開発今されている。そういったものも含めてどうしていくのか。コミュニティバスが実証実験されたときに、数か月、たしか3か月ぐらいだったと思いますけれども、市内を回って図書館前まで行きました。貸出し冊数が増えているのです、その3か月間程度は。という意味では、やはり市民にとって使い勝手のいい状況、環境というのが整えば、市民はもっと図書館を利用したいということの表れではないかなと思っているので、としよまるというものが少し減ってきているのであれば、どこに市民のニーズが必要なのかというのを改めて大きな枠の中でまた検討する時期にも来ているのではないかなと思って今お聞きしていますけれども、それについてはどのように考えていますか。

○ 仲里邦彦 委員長 仲間陽子教育部長。

○ 仲間陽子 教育部長 今出ました分館につきましてもやはり遠い地域の方、としよまるというのは時間的にも長いこと滞在するわけではございませんので、それも含めて、キンザーの返還等もあります。てだこ浦西駅周辺の開発とかもございいますので、今後長期的な計画の中で検討させていただきたいというふうに考えてございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 以上で終わります。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次は6項1目、4目についての説明を求めます。末広良憲文化スポーツ振興課長。

○ 末広良憲 文化スポーツ振興課長 決算書377ページから380ページまでお願いいたします。10款6項1目保健体育総務費、備考欄2スポーツ振興事業、次ページの備考欄4スポーツ振興事務費は、文化スポーツ振興課所管でございます。戻りまして、スポーツ振興事業のうち(2)報償費、謝礼金につきましては、東京2020オリンピック聖火リレーを浦添市で実施する予定であったことから、前回の東京オリンピック大会の沖縄聖火リレー第1走者の方を講師に迎え、講話を実施いたしましたが、謝礼金の遅滞がございました。それで、未執行となっております。学校体育施設開放事業に係る謝礼金につきましては、学校施設開放事業管理者への謝礼となっております。令和元年度につきましては、コロナウイルスの影響により2月26日から3月22日まで開放事業を中止した影響により、謝礼金が減っている状況でございます。続きまして、(4)の需用費のうち施設修繕料につきましては、こちらにつきましては同じように学校開放事業の主なものになりますけれども、浦西中学校、神森小学校、浦添小学校、仲西小学校、前田小学校の照明の交換がございました。先ほど言いました文化スポーツ振興事務費につきましては、先ほどもお話ししたとおり、文化スポーツ振興課事務費という名称でございましたけれども、同名が3つあったことから名称変更しております。続きまして、383ページから386ページをお願いいたします。4目の体育施設費、備考欄1体育施設運営事業でございます。こちらのうち386ページ、(6)工事請負費につきましては、トイレ洋式化改修工事につきましては市民球場メインスタンド26か所、多目的屋内運動場4か所、計30か所を洋式化しております。続きまして、(8)負担金、補助及び交付金につきましては、先ほどのてだこホールと同じような形でコロナウイルスの影響による体育施設の利用料のキャンセルに伴う負担金で、138件分、62万7,380円でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 決算書の385ページ、386ページをお開きください。10款6項4目体育施設費、備考欄の前年度繰越明許費、2浦添運動公園内体育施設機能強化事業は、施設課所管分でございます。こちらは、（仮称）新市民体育館整備基本計画を策定する業務委託料となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 6項1目、4目についての質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、それでは教育部所管に対する総括的質疑を許します。ございませんか。仲間 烈委員。

○ 仲間 烈 委員 浦添城跡のトイレの件が上がっていたと思うのですがけれども、繰越しされて、現状お聞かせいただければ。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋友木治文化財課長。

○ 島袋友木治 文化財課長 お答えいたします。浦添城跡のトイレの整備ですが、令和2年に繰越しいたしまして、現在設計業務を行っております。令和2年度に設計、令和3年度に工事の予定で進めております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲間 烈委員。

○ 仲間 烈 委員 分かりました。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 386ページですが、前年度繰越明許費の中の浦添運動公園内体育施設機能強化事業、委託料、調査及び計画策定委託料というのは、主に内容どういうふうな感じでやっていますか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 こちらにつきましては、（仮称）新市民体育館建設基本計画となっております。計画の主な方針を5つほど掲げております。そのうちの1つ目、まず新体育館と、また現在ある現体育館、この2つの拠点機能を生かすことのできる整備ということを1つ。2つ目に、現在ある陸上競技場スタンド、老朽化してしまっていて、そちらと一体的な整備を図るということで建物の複合施設も視野に入れた、土地の有効活用も視野に入れた方針も掲げております。3つ目、ハンドボール規格への適合、国内ハンドボールリーグとか各種ハンドボール大会での活用等も視野に入れた整備と。4つ目、バリアフリー対応の充実と。現体育館はエレベーター等もついておりませんので、そちらバリアフリー対応の施設を整備していきたいということです。あと、最後になりますが、災害時の避難所としての施設ということで、おおむね5つの方針を掲げた基本計画となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 基本計画の内容等の、今委託料の中での5つのバリエーションという一つの考え方を計画していると思いますけれども、その実施に至るまでの時間的にはどのぐらいの期間を予定していますか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 実施に至るまでの期間ですが、現在基本計画の中でスケジュール案として策定しております。現在のところ、基本設計を今後進めていく予定でございます。こちらにつきましては、計画の中ではスタートした年度を1年目としまして、おおむね2年近くかかる計画でございます。その後3

年目といえますか、3年目には実施設計、1年を経て、またその後に既存の配置する例えばスタンド、陸上競技場のスタンド辺りを解体しまして、新たな体育館建設というスケジュール案をこの計画の中で策定してございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 現に熱中症という、夏の期間が非常に暑くなっていると。体育館の中は非常に、熱中症対策も今後体育館を新しく新設する場合はそういうことも必要になってくるのではないかなと私は思います。そういう意味で体育館の新しい建設に当たっては、市民の皆さん大いに期待していますので、早めに進捗できるような状況をつくっていただきたい、市民に大いに活用できるような方向立てをしていただきたいなということを要望して終わります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今の新市民体育館について、基本設計が2年間、実施設計が1年間、工事については何年間の予定ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 ただいまの質疑は、工事は何年目ということでしょうか、何年かかるかということでしょうか。

(「どっちも」と言う者あり)

○ 宮城直哉 施設課長 スケジュールにもありますが、通常ですと基本設計、実施設計後の工事の着手ということで、先に解体の工事が入る予定ですが、基本設計、実施設計、3年、4年目の今計画スケジュール案となつてございます、解体工事の着手ですね。解体を終わった後に本体の工事ということで、こちらスケジュール案としましては工事自体は解体後の体育館建設としてはおおむね2年のスケジュール案ということになっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 では、整理すると、今聞いたのを。基本設計に着手して、基本設計2年間とおっしゃいましたか。実施設計1年間、解体工事1年間、本体工事2年間という、確認で、よろしいですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 あくまでスケジュール案ということでそのとおりでございます。しかしながら、やはりもろもろの財源等、その辺はちょっと本計画としてはまた別になるのかと思っていますが、スケジュール案としてはそういうふうに計画をまとめているところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 着手して、順調にいったとしても6年の計画で今ということですが、基本設計の着手についてはどのような見通しかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 基本設計につきましては、現在のところ年度内の発注を予定しているというところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 実施設計については、基本設計が2年間たって終わったらすぐ入れるような見通しで

ありますか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 通常ですと、基本設計後のその内容を踏まえた実績設計業務を発注という工程となります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 次に移ります。過大規模校について、浦城小学校は過大規模ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 お答えいたします。ただいまの御質疑の浦城小学校につきましては、標準学級数、特別支援も含めまして33学級で過大規模校となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 何年間この過大規模校の状況が続いているのか。当山小は、ちなみに何年間過大規模校か。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 当山小学校につきましては、平成22年度から10年目となっております。以上です。

（「浦城は」と言う者あり）

（「休憩お願いします」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 （休憩時刻 午後 3 時13分）

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 （再開時刻 午後 3 時13分）

宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 当山よりも以前に過大規模校となっております。浦城のほうが先でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 過大規模校のやっぱり解決しないといけない課題という意味で、浦城も同様に学校経営に支障を来しているという状況があると思うのですけれども、その辺りの検討というのはどのように考えているのか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城直哉施設課長。

○ 宮城直哉 施設課長 過大規模校の解消につきましては、文科省も解消を図るよう指導がございます。現在当山小学校につきましては、これまでも御承知のとおり、分離新設に向けた解消策を現在進めているところでございます。浦城小学校におきましては、実質1,100人を超えた時期が5年間ございました。今現在、今年度現在、実際生徒数が1,000人を切ったところでございます。学級数も若干ですが、減りつつあるところでございます。現在33学級となっております、今現在の手元の資料の見通しでは推移的には若干学級数が減る推計もございまして、そういう状況でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 これだけ長い間過大規模ということであれば、当然解消されるべきものであって、これについても適切にどういうふうにしていくのかというのは真剣に検討されるべきではないかなと。全体的

なまた市内の今後、キンザーの返還だったり、あとさっきのモノレール駅周辺についても今後また変化が出てくとも予想されるので、全体的に今後どうするのかということも含めて検討の必要があるかなと思っています。これについては、適切にしっかりやっていただきたいという要望で終わります。最後に、図書館の件で、今コロナの件でなかなか図書館に行けないということもある中で、電子書籍というんですか、そういうものについて浦添市として導入を検討しているのか、今後どうするのかという何かあるのかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 川上あけみ社会教育推進課長。

○ 川上あけみ 社会教育推進課長 お答えいたします。今回の新型コロナ関係で図書館が休館になりましたので、本を借りれないという状態がちょっと続いておりましたので、電子図書についても、今後どのようなサービスが必要かということもちょっと検討しながら、こういう解決ができないかということで調整をしていきたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今後電子書籍というもので便利に本にアクセスできるような環境というのが整えば、またそれだけ市民にとっては利便性が向上するということもあると思いますので、ぜひ検討課題としていただければと思っています。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、以上で教育部に対する審査を終了いたします。教育部の皆さん、御苦勞さまでした。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

これにて散会いたします。

(散会時刻 午後 3 時18分)